

2 学期終業式に

皆さん、いよいよ今年もあとほぼ1週間。年の終わりはいつも、決まりきったように「あっという間だったね」と振り返り、新しい年を迎える…どうでしょう、皆さんは今までに何回、そんな年末年始を経験していますか。

あっという間、瞬間、刹那…短い時間を表す言葉は色々ありますが、その、ほんの短いひと時の積み重ねが私たちの「生」であり「人生」です。

そして、その短い時間、刹那が永遠の時間を持つこともあります。

私が高校2年生の時、クラスの友達と丹沢でキャンプをしました。冷たく平たい石の上に薄い毛布を1枚敷いて、人口の光のない夜空を友と二人で眺めながらいろいろなことを話していた時、きらめく星が一瞬、夜空を流れました。その刹那、二人の言葉が途切れました。

先日、偶然にもその友人と再会しました。彼女はこの山北に結婚して暮らしていたのです。とりとめのないおしゃべりがふと、止まり、不意に、友人が「ね、あのキャンプの夜の星」と言いました。その時、私は30年以上の時を超えてありありと友人と眺めた夜空が心に浮かびました。彼女もふっと遠い目をした後私に微笑みました。あの流れ星は一瞬でしたが、私の、そして友人の、心に永遠に生きていることを実感しました。

どうでしょう、皆さんが今年の年末に振り返って感じる「あっという間」の中に永遠の時間を持つ瞬間、刹那はありませんか。直近では修学旅行、丹沢散歩、発表会、プチ文化祭、球技大会。イベントでなくても、何気ない教室や体育館、通学路での一瞬もありです。探せばきっとあります。ヒントは「感動」。言い換えると「面白い!」と思ったこと。見つかったら、心のアルバムに留めておくことを勧めます。

私たちの生きている時間は一瞬一瞬の積み重ねです。その一瞬一瞬のどこかに永遠の光を見つけられたらすてきですね。今、見つけられなくても明日、見つかるかもしれない。皆さんの明日はもちろん、皆さんの周りにいるすべての人の明日も、永遠の光を見つける可能性の塊です。ともにその種となる「感動」が生まれる「やわらかい心」を持ちたいと思います。

また、新年にお会いしましょう。